

8/19
福井県民



「教え子を再び戦場に送らない」と書かれたポスターを掲げ安保関連法案に反対する退職教職員ら=福井市の県教育センターで

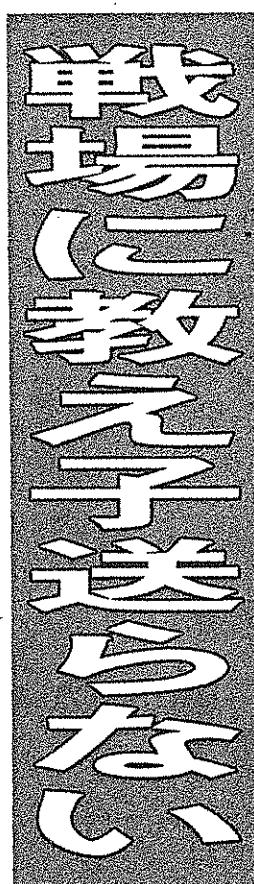
安倍政権が今国会で成立を目指す安保関連法案に反対する県内退職教職員の集いが十八日、福井市大手二丁目の県教育センターで開かれた。校長経験者ら呼び掛け人の声に賛同した退職教職員らが、「教え子を再び戦場に送らない」と書かれたポスターを一斉に掲げた。校長経験者ら呼び掛け人の声に賛同した退職教職員らが、「教え子を再び戦場に送らない」と書かれたポスターを一斉に掲げた。

賛同した約五百五十人のうち約百人が出席。発起人代表の竹内謙一さんは、終戦を海軍学校で迎えた経験で、戦争体験や現職中の戦後教育など反戦の思いも語った。今後、福井市で二十三日に開かれる安保法制反対の県民集会への参加

解釈変更を違憲とした事例を挙げ、「戦前の大日本帝国を再現しようとしている。七十年かけてつくり上げた民主主義社会の全否定と言わざるを得ない」と廃案を求めた。

その後、安倍内閣の安保法制を「憲法の条に違反する戦争法案」とするアピール文を読み上げ、ポスターを掲げて法案反対の意思表示をした。退職教職員が交代で、戦争体験や現職中の戦後教育など反戦の思いも語った。今後、福井市で二十三日に開かれる安保法制反対の県民集会への参加

「安保法案反対」アピール



県内退職教職員
賛同者が集い

や、廃案を求めて賛同者の署名を県選出国会议員に提出するなどの活動をする。
(山内道朗)